



イーストマン・コダック社 | サステナビリティ レポート 2021年度 最新版

ONE WORLD ONE KODAK



WORLD



KODAK

CONTENTS

はじめに

コダックについて	2
CEOのメッセージ	3
コダックのビジネス最新状況	4
コダックの事業別ソリューション	5
コダックのサステナビリティの取り組み	6
サステナビリティ目標	8
新型コロナウイルス感染症のパンデミック下での取り組み	10

ONE BUSINESS: 製品とサービスのイノベーション

環境保護と事業成長を両立: コダックの最新の製品とサービス	14
溶剤のリサイクル: 循環型経済の実現に向けて	18

ONE PLANET: 責任ある環境フットプリント管理

Eastman Business Park: 持続可能な成長の中心拠点	22
持続可能な操業体制	24
責任あるサプライチェーン	25

ONE PEOPLE: 助け合いの輪

安全	28
コロナ禍における従業員の安全確保	29
ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン	30
将来を切り拓く技術と人材の育成	31
従業員の健康と福利厚生	32
地域社会との関わり	33

本レポートについて

本サステナビリティレポートの情報は、主にイーストマン・コダック社の2018~2021年におけるグローバルな事業活動と、サステナビリティに関する当社への重大な影響要因が反映された内容で構成されています。

当社は、ステークホルダーの意思決定にお役立ていただくことを想定し、サステナビリティパフォーマンスを可視化し開示することに取り組んでいます。その一環として、ステークホルダー（お客様、従業員、投資家、当社が事業を展開する地域社会などを含みます）との最も理想的な関わり方や関係構築の枠組みを継続的に見直しています。

私たちは One KODAKの 理念のもと、 お客様と地球との 約束に向きあいます。

当社は、印刷ならびに先端材料および先端化学薬品を中心に、
人類と地球に優しい革新的な製品とソリューションをお届けし、
コダックそして当社のお客様の持続可能な成長を促進します。

コダックについて

コダックは、オフセット印刷とデジタル印刷、先端材料および先端化学薬品を中核基盤とするグローバルテクノロジーカンパニーです。業界最高水準を誇るハードウェア、ソフトウェア、消耗品、サービスを、商業印刷、包装、出版、製造、エンターテインメント、その他さまざまな業界にお届けしています。

コダックは、お客様のコスト削減、運用効率向上、地球への環境負荷の最小化を支援する、持続可能なソリューションの開発を通じてお客様に貢献することを約束し、この約束を原動力に、現在そして将来にわたって努力と進化を続けていきます。

130+

130年以上にわたり
高品質とイノベーションを実践

4,300

4,300名の従業員

2,500

2,500件の印刷関連特許を保有

90M

KODAK PROSPER 6000デジタルプレスで印刷可能な平均月産ページ数 (9,000万ページ)

50%

KODAK PROSPERインクジェットインプリンティングシステムの廃棄物削減率 (主要なその他のソリューションとの比較)

50%

2018年にEastman Business Parkで実施されたボイラー交換プロジェクト以降の温室効果ガス排出量の推定削減率

0

KODAK SONORAプレートの処理に必要な化学薬品の数

9

映画フィルムの技術貢献に対するACADEMY AWARDS®の受賞回数

5

2020年、Buyers Lab社主催のOutstanding Innovation Awardsを受賞したKODAKインクジェットテクノロジー製品の数

Jim Continenza

会長兼CEOのメッセージ

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行から未曾有の異常気象まで、この数年に当社が経験した数々の事象は、人間と地球の分かちがたい結び付きをあらためて思い起こさせるものでした。当社が存在する世界はひとつしかありません。地球の片側で何かが起きたら、その影響は反対側にも及びます。ここから導き出されるメッセージは明確です。当社全員がお互いを思いやる必要があり、持続可能な世界を創出するという責任を、誰一人欠けることなく共有しています。

コダックのサステナビリティの出発点は、現在の従業員そして次世代を担う人材のために、成功し収益を生み出す企業を創り上げることです。これは、現在もこれからも、コダックの中心には人がいるからです。そのうえで私たちは、コダックとコダックのあらゆるステークホルダーの持続可能な成長と成功を実現するために行動しています。世界最高水準の研究開発チームの能力を存分に活かして独創性に優れた持続可能なソリューションを市場に投入しており、当社の新たな成長分野を切り拓く先端材料の取り組みも継続しています。

当社は「One KODAK (ワンコダック)」の理念を確立しています。そして当社の従業員一人ひとりが、この理念を推進することに取り組んでいます。これは、包摂性、相互協力、つながりを基盤とするOne KODAKによって社内部門間の分断を解消することで、当社は卓越した顧客サービスとイノベーションの提供に集中できるという理念です。この理念がまさに現実のものとなったのがパンデミックの時期でした。熱意ある従業員が決起し、忍耐強く業務を遂行したことで、事業の中断を最小限に抑え、現場の生産能力を維持することができました。新型コロナウイルス感染症との闘いにコダックが加わることができたのも、One KODAK の理念があったからこそです。手指消毒剤製造に必要なイソプロピルアルコールをニュー



**創造性とアイデアを抱き、
卓越した製品と技術を生み出せる
優秀な人材の支援に力を注ぐことが、
顧客サービスの改善、社会への価値還元、
市場競争力と持続可能性の両立を
可能にします”**

ヨーク州に供給するにあたり、当社が有する化学分野の専門知識と生産施設が活用されました。同時に、世界中の当社の従業員が新型コロナウイルス感染症の救済イベントを開催し、各自の地域社会に貢献するという動きも見られました。

当社は、環境負荷の低減に向け One KODAK で取り組んでいます。このテーマに私自身が熱い思いを込めている理由は、私がミネソタの大自然の中でハイキング、キャンプ、釣りをしていたからだと考えています。この地球を守り、より持続可能な世界を築くためにコダックの力で貢献したいという思いが強まっているのは、こうした背景も関係しています。コダックは、SONORA プレートや水性インクといったイノベーションを送り出すなど、この数年着実に進化を遂げていますが、製品や業務の持続可能性をもっと高めるためには、さらに多くの取り組みをしなければならないと認識しています。



One World を分かち合う一員であること。One KODAK の担い手であること。この2つの責任を胸に刻み、コダックとコダックのあらゆるステークホルダーの持続可能な成長と成功を推進していきます。

James V. Continenza

Jim Continenza
イーストマン・コダック社 会長兼CEO



コダックのビジネス最新状況

当社では、以下の分野における優れた製品とサービスの提供に注力し、収益の拡大を推進しています。

オフセット印刷とデジタル印刷

オフセット印刷ソリューションには、デジタルオフセットプレート製品やCTP (Computer-To-Plate) イメージング ソリューションなどがあります。デジタル印刷ソリューションには、帯電式トナー関連技術、プロダクションプレス システム、消耗品 (主にインク、トナーなど)、インクジェット部品、各種ソフトウェアおよびサービスなどがあります。オフセット印刷もデジタル印刷も、商業印刷、ダイレクトメール、書籍出版、新聞、雑誌、パッケージなど多種多様な民間産業で活用されています。

先端材料と先端化学薬品

先端材料と先端化学薬品の取り組みでは、調査、新製品の開発、既存の材料や化学物質の新機能の開発、発明や技術革新の特許申請など、未来を切り拓くアイデアを現在の市場で具現化する企業のお手伝いをしています。

コダック製品の最近の受賞歴と表彰歴

- **2019 Environment Development Center of China Ministry of Ecology and Environment Award:** インクエコラベル
- **2019 China Environmental United Certification Center Award:** インクエコラベル
- **2020 European Digital Press Association Award**
環境保護インクおよびトナー部門: KODAK 抗菌性クリアドライインク
- **2020 Printing United Alliance Product of the Year:**
KODAK PROSPER QD パッケージ用インクおよびフィルムオブティマイザーエージェント
- **2020 InterTech™ Technology Awards:**
KODAK PROSPER および UTECO Sapphire EVO 製品
- **2021 Pinnacle InterTech™ award**
(持続可能な印刷への貢献を評価):
KODAK SONORA Process Free Plates
- **2021 Keypoint Intelligence Buyers Lab Outstanding Innovation Awards (プロダクション印刷部門):**
KODAK PROSPER および UTECO Sapphire EVO 製品

コダックの事業別ソリューション



オフセット印刷

- SONORA プロセスフリープレート
- CTP (Computer-To-Plate) システム



コンシューマー

- ブランドライセンス供与



デジタル印刷

- PROSPER デジタルプレス/インプリンティングシステム
- ULTRASTREAM インクジェットプラットフォーム
- NEXFINITY デジタルプレス
- ASCEND デジタルプレス
- PROSPER 水性インクジェットインク



ソフトウェア

- PRINERGY ワークフローソリューション



先端材料と先端化学薬品

- KODACOLOR DTG (Direct-to-Garment) インク
- KODALUX ファブリックコーティング
- コーティングおよび商品化サービス
- 特殊化学薬品
- 溶剤回収
- プリント基板フィルム製品
- 銀抗菌材料および銀抗菌技術の応用
- ESTAR-PETフィルム
- 工業用X線フィルム
- エアリアルイメージング
- 映画フィルム
- 薬剤の主要出発原料

コダックのサステナビリティの取り組み

Dick Szembrotより皆様へ

ワールドワイド衛生／安全／環境担当ディレクター



コダックは、環境負荷の最小化と社会への価値還元を継続できる企業経営は必須だと認識しています。そして、One KODAK として一丸になることで、この目標を達成します。

好循環を生むための取り組みとして、業務の遂行方法を全社規模で改善し、お客様独自のサステナビリティ目標の達成を支援しています。現在コダックは、お客様の効率性向上と環境負荷低減に貢献する製品、サービス、テクノロジーを数多く提供し、従業員への支援として、彼らが地域社会に貢献できる機会を提供しています。

コダックの持続可能性を高めるために着実に歩みを進めていますが、まだまだ道半ばであることは承知しています。当社にとって最大の事業である商業印刷部門は、環境に関する課題がつきものであり、その種類も多岐にわたります。当社はこれからも、それらを解決する一翼を担い続けていきます。



好循環を生むための取り組みとして、
業務の遂行方法を全社規模で改善し、
お客様独自のサステナビリティ目標の
達成を支援しています”





コダックのサステナビリティ実績

26%

温室効果ガス排出量の削減率* (収益に連動)

54.28M

コダック以外の排出源から5,428万ポンドの溶剤を、回収 (55%の増加*)

300

21-Day Racial Equity Challengeに300人の従業員が参加

100

企業平等指数スコア100%を21年連続で達成

4

赤十字社献血イベントをEastman Business Parkで4回開催

*2016年のベースラインとの比較

現在当社は、今後の優先項目のロードマップとなるサステナビリティ戦略の刷新に取り組んでいます。製造工程の改善を進め、お客様の持続可能性を高める製品を提供することとは別に、製品ライフサイクル全体という観点では、改善できる領域がさらに多く見えてきます。これからの戦略は、気候関連のリスクおよび機会に対する理解を深めるなど、より包括的なアプローチが取り入れられる予定です。

当社がサステナビリティ目標の達成に向け前進することで、One KODAKとしての当社の団結力はますます深まります。これを実際に実現するには、衛生/安全/環境チームの内部に限定されない、全世界のあらゆる拠点を巻き込んだ、企業全体での組織的な取り組みと活発な参加が必要です。私自身、コダック全体に熱意と責任感が生まれていると感じていますし、それらが当社、当社のお客様、そして全世界を良い方向に導いてくれると確信しています。

Dick Szembrot
ワールドワイド衛生/安全/環境担当ディレクター

SUSTAINABILITY

環境*

廃棄物

全世界のコダック拠点で
廃棄物ゼロを目指し、
2025年までに、埋め立て
および焼却からの廃棄物
転換率 99% を全社で達成

温室効果ガス

全世界の事業における
温室効果ガス排出量を
2025年までに 25% 削減 **

水

コダックの全世界の事業に
おける水の消費量を
2025年までに 25% 削減 **

水/エネルギー

コダックのお客様による水とエネルギーの
消費量削減を可能にする革新的な製品を提供

リサイクル

コダックが外部排出源から回収する
使用済み溶剤の量を、2025年までに 3 倍に増加

*2016年のベースラインとの比較

**収益に連動

GOALS

サステナビリティの目標

社会



安全

2025 年までに
労働災害率を 25% 削減 *



地域社会貢献

地域社会でのボランティア活動に充当できる業務時間を
2025 年までに倍増し、慈善活動やボランティア活動を通じた
従業員の地域社会貢献を支援 (米国およびカナダ)
コダックが事業を展開する世界中の地域社会の 100% で、
従業員による地域社会貢献活動を継続



ダイバーシティ/インクルージョン

Human Rights Campaign の
企業平等指数スコア 100% を維持し、同財団が
発表する「LGBTQ 平等における最高の職場」リスト
への掲載を継続



従業員エンゲージメント

コダックの価値観を反映した理念を
従業員と共に構築し、
個人と組織の生産性を活性化

*2016年のベースラインとの比較

新型コロナウイルス 感染症の パンデミック下での取り組み

新型コロナウイルス感染症のパンデミック下において、コダックが何よりも優先するのは、人々をケアすることです。コダックの製品とサービスは、食品や飲料、医療、行政といった最重要の業種を数多く支えています。また、コダックのリソースとテクノロジーを新型コロナウイルス感染症の拡大防止に役立てる新たな方法を発見したことで、感染拡大初期からコダックはエッセンシャル ビジネスに指定されています。

難しい課題が山積する中、当社は、従業員、お客様、地域社会の支援に専念しつつ、事業の中断を最小限に抑え、新しい製品とソリューションを市場に届けてきました。その取り組みの一部を紹介します。



従業員

- コダックのグローバル危機管理チームが連携して新型コロナウイルス感染症に対応
- 世界保健機構 (WHO)、米国疾病予防管理センター、現地医療専門家のガイダンスを参考にした意思決定により、個人衛生習慣の促進、職場の消毒、施設訪問者のスクリーニング、リモートワークなどを実施
- 高リスク地域への渡航や不要不急の渡航を削減し、サービスエンジニアなどによるすべての渡航については、大手グローバル企業が運営する医療/旅行セキュリティサービスのアドバイスを活用

お客様

- 新たな仮想カスタマー サービスモデルを活用し、増加し続ける顧客ニーズに対応
- コダックの PET 材料製フェイスシールドを従業員とお客様に無償提供
- 人工呼吸器の基板作成に必要なプリント基板フィルムを機器製造メーカーに提供

地域社会

- Eastman Business Park を地域イベントに開放 (2020 年に 4 回開催された赤十字社の献血イベントを含む)
- タンクローリー 数台分のイソプロピル アルコールを提供し、ニューヨーク州の手指消毒剤製造を支援。これらの手指消毒剤は、同州の感染被害を受けやすい地域や、学校やメトロポリタン交通局など同州が運営する機関に配布されました。

さらにその先へ：広がる助け合いの輪

コダック従業員による支援の輪は、コロナ禍にあるお客様、そして地域社会へと広がっています。



Eastman Business Park 内にある Kodak Center は、通常はコンサート、演劇公演、教育イベント、地域社会の行事などに使用されています。新型コロナウイルス感染症のパンデミックを受け、Eastman Business Park の施設/イベントマネージャー **Lori Faul** は、米国赤十字社グレート・ロチェスター支部のような団体にも同センターを開放できるよう、利用許可の取得に尽力しました。2020 年に赤十字社が主催した 4 回の献血イベントはいずれも成功裏に終了。Lori のサポートが、パンデミックによって底をつきつづあった輸血用血液の不足解消に貢献しました。

ドイツ・オステローデのデータ技術マネージャーである **Tobias Wittig** 博士は、ドイツ赤十字社のメンバーとして 30 年以上にわたり活動に参加し、現在はオステローデ支部のチェアマンを務めています。同氏はコダックの同僚とともに、コダックの実習生を数多く受け入れている現地の専門学校で献血イベントを開催し、成功に導きました。

Photo by Petra Bordfeld



新型コロナウイルス感染症のパンデミック下でのニューヨーク州ロチェスターでは、**コダックの特殊化学薬品/インク/分散体 (SCID) チーム** が、パンデミックの影響を受けた人々の支援活動に取り組みました。コートと書籍の寄付イベントを開催し、現地の非営利団体 Baden Street Settlement of Rochester に感謝祭のギフトを寄付しました。同チームと同法人の関係は長く、生活に困っている人々のための休日の食事を 15 年以上にわたり提供しています。



メキシコ・メキシコシティのフィールドエンジニア **Emmanuel Herrera** は、3D 印刷の専門知識を活かして余暇に特殊な防護マスクを製作して現地の医療従事者に配布し、コロナ禍の地域社会を支えています。2020 年に病院と診療所に寄付したマスクは 250 枚以上にもなりました。

Tina Pauley は、フロリダのチームリーダーとして、コダックの全製品ラインナップのカスタマーサービスサポートを担うフィールドエンジニアを統括しています。パンデミック下では、チームが実践する定期メンテナンス手順を Tina の主導によって刷新し、お客様の高い生産性を維持できました。





ONE BUSINESS

製品とサービスのイノベーション

コダックの長期的な経済的成功は、お客様のニーズにしっかりと寄り添うことでもたらされます。サステナビリティはこのようなニーズのひとつに数えられるようになりました。コダックは、事業の拡大と市場の創出を自社にもたらし、科学に根ざした製品と技術の開発と提供に取り組んでおり、その一環として、業務効率性の最大化、資源消費量の最小化、長期的なコスト削減によってサステナビリティ パフォーマンスを高める製品や技術にも注力しています。

環境保護と事業成長を両立： コダックの最新の製品とサービス

コダックは、マテリアルサイエンスの豊富な知識と数千件に及ぶ印刷関連特許を有する業界のパイオニアとして、特にサステナビリティの分野での革新を続けてまいります。サステナビリティの過程に終焉などはありません。当社も引き続き、製品とサービスの環境負荷を低減する方法を模索していきます。商業印刷は廃棄物や汚染の重大な発生源となってきた歴史があり、このような取り組みは印刷製品にとって特に大きな意味があります。コダックは、ロチェスター工科大学汚染防止研究所と連携してライフサイクル評価およびカーボンフットプリント測定機能を自社開発しています。これらの機能を通して、当社製品の環境フットプリントを削減できる領域は今後さらに特定されていくでしょう。

コダックでは引き続きより多くの製品に、環境への配慮を反映していく予定です。ここでは現時点でサステナビリティに貢献しているコダック製品の一部を紹介します。

プロセスフリー印刷

オフセット印刷は、19世紀に発明されてから変わることなく、イメージングと処理に大量の化学薬品、水、エネルギーを必要とします。コダックは、KODAK SONORA プロセスフリープレートの開発により、処理用の化学薬品や水を必要とせず、廃棄物とエネルギー使用量を削減できる印刷プレートの商業化に初めて成功しました。また、現像処理によるばらつきがないというプロセスフリープレートの一貫性と安定性を活かして、印刷工程の作業時間、廃棄物、コストを削減できます。

コダックのプロセスフリープレート事業は過去5年間で116%の成長を遂げています。この事業が現在まで成功を続けている理由は、プロセスフリーの手法を導入した印刷会社において、環境面と経済面のメリットが確実に達成されているからにほかなりません。



CTP (Computer-To-Plate) システム

その他の製品に比べてエネルギーを95%節約

印刷会社の環境コストと経済コストの削減に大きく貢献する SONORA プロセスフリープレートをコダックの CTP テクノロジーと組み合わせることで、さらに大きなメリットを得ることができます。CTP システムでは、各画像をコンピューターからプレートに直接出力できるため、中間工程のフィルムが不要となり、廃棄物が削減されます。さらにコダックでは、さらなる省エネ化に向けた CTP システムの革新を続けており、現在のエネルギー消費量は、その他の製品に比べて最大 95%削減されています。

KODAK SONORA プロセスフリー プレート



化学薬品不使用



水不使用



省エネルギー



低廃棄物

SONORA プレートは、コダックの持続可能な製品ラインナップの中核を担う製品です。現像液、化学薬品、水を含む自動現像機にプレートを通過させて画像を形成する従来のプロセスとは異なり、プレートセッターでの画像形成後そのまま印刷できる SONORA プレートは、処理工程の化学薬品、水、余分なエネルギーや廃棄物がすべて不要になる、環境負荷を大幅に低減できるアプローチです。

コダックのプロセスフリー技術は、厳しい性能要件を満たした 2018 年開発の SONORA X プレートによって、市場セグメントを大幅に拡大しました。さらに 2021 年に登場した次世代 SONORA XTRA プロセスフリー プレートでは、イメージングスピードが大幅に高速化され、視認性が劇的に改善され、取り扱い性も向上しています。これらの新たな機能強化が、オフセット市場をさらなるプロセスフリー化へと導くきっかけになります。現在 SONORA 製品は、全世界 5,000 以上の印刷会社に採用されています。

有処理プレートをSONORAプレートに置き換えることで、印刷業界全体で節約できるエネルギーの推定量

3.3M

330万リットルの
プレート現像液 (年間)

24M

2,400万kWhの電力量 (年間)

507M

5億700万リットルの水 (年間)

デジタルプレスとワークフローソフトウェア

オフセット印刷に比べてリソース消費量が少ないデジタル印刷を、情報活用力に優れたコダックのワークフローソフトウェアと組み合わせることで、お客様はさらなる効率化が可能です。このワークフローソフトウェアは、廃棄物の削減、インクの節約、高コストをもたらす人的ミスの排除を、自動化と統合によって支援します。

KODAK NEXFINITY デジタルプレス

高速／高信頼性／長寿命

NEXFINITY デジタルプレスは、環境性能に優れたコダック製 VOC フリー ドライインクを使用して、揮発性有機化合物の排出をほぼ完全に抑制します。電力要件は同種の製品に比べて大幅に低く、高速化とイメージング機能の強化によってドットのシャープネスを厳密に制御でき、長時間の稼働でも高い品質と一貫性を保つことができます。

NEXFINITY デジタルプレスは、各種部品の設計段階で長寿命が組み込まれた、コダックの歴史において資源の使用量と廃棄物の両面で最も効率性に優れた印刷機です。ソフトウェアと機能のアップグレード、品質強化が定期的の実装される点も、お客様にとって大きなメリットです。

KODAK PRINERGY ワークフローソフトウェア

さらに簡単で、収益性の高い、サステナブルな印刷

コダックの PRINERGY ワークフローソフトウェアは、印刷業界をリードするプリプレス自動化ソフトウェアです。クラウドからオンデマンドで運用できる PRINERGY ワークフローソフトウェアでは、手動による操作を減らし生産性を高め、エラーを最小限に抑えることで無駄を削減します。また、PRINERGY ワークフローソフトウェアに組み込まれた AI（人工知能）と分析機能を活用することで、インクやプレートの使用データおよび使用傾向に基づいて、コスト削減や業務改善につながるビジネス上の意思決定を下すことができます。



持続可能性に優れた水性インク

数々の受賞歴を誇るコダックの高性能水性インクは、従来の溶剤ベースのインクに比べて人や環境に対する安全性が向上しています。揮発性有機化合物（VOC）の含有量を最小限に抑え、ポリ塩化ビニールやフタル酸エステルを含まないため、潜在的な有害物質を排水流や水源から排除し、有害廃棄物の除去処理を不要にします。

コダックの水性インクは品質面でも一切の妥協はなく、印刷品質と再現の一貫性においてオフセット印刷とほとんど見分けがつかません。その優れた性能とサステナビリティ プロファイルが評価され、現在では食品パッケージやパーソナルケア用品、子供向け書籍などあらゆる商品にコダックの水性インクが採用されています。



当社の目標は、発明とイノベーションを通して、お客様のニーズだけでなく社会のニーズに応えることです。当社の研究員と研究開発チームは、お客様と社会が直面している共通のニーズや課題を最前線で調査し、その解決策となる製品とサービスを生み出すことに専門知識と情熱を注いでいます”

Terry Taber博士
最高技術責任者兼プレジデント、先端材料／3D印刷技術部門

KODAK PROSPER インクジェットプレス

デジタル印刷機の価値を向上

PROSPER インクジェットプレス プラットフォームは、コダックの水性インク技術を活用した高速プロダクションデジタルプレスで、出版、ダイレクトメール、各種基材のパッケージなど幅広い用途に対応。短納期少量印刷にも対応します。また、プリントヘッド部品は再生および再利用できるよう設計されており、廃棄物削減がさらに促進されます。





溶剤のリサイクル: 循環型経済の実現に向けて

当社は廃棄物から価値を生み出す循環型経済を実践しています。コダックの溶剤回収は今まさに成長を遂げている事業です。

溶剤回収とは、製造工程で発生する廃棄物や副産物の溶剤から有用な原材料を抽出し、再利用のためにそれらを加工するプロセスです。廃棄物が再利用されることで、エネルギー使用量、温室効果ガス排出量、廃棄物処理費用の削減に加え、材料の再利用や販売による天然資源保護や収益増など、あらゆる人々が恩恵を享受できます。

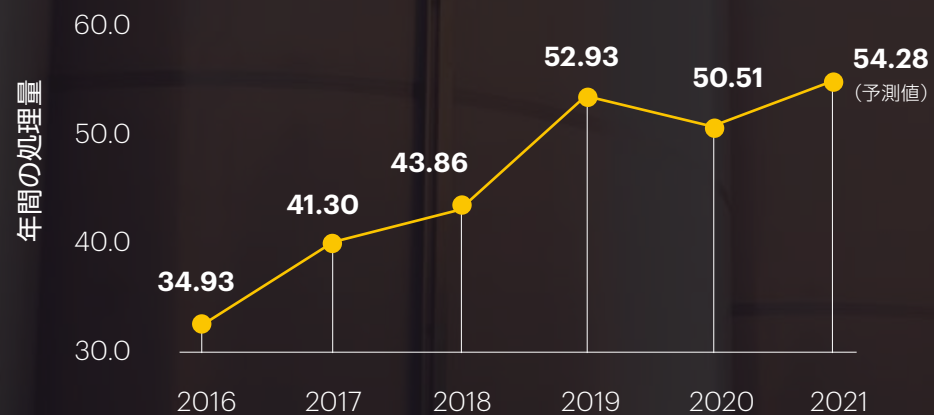
Eastman Business Park のコダック施設では、製薬、医療、化学薬品製造の業界のお客様から供給される、最も一般的な 5 種類の工業用溶剤（メタノール、エタノール、イソプロピル アルコール、アセトン、酢酸エチル）を再処理しています。この回収プロセスには最高水準の規格が適用され、最終的にはほぼ未使用の状態に近い原材料が生成されます。その純度が工業グレード製品の純度を上回ることも珍しくありません。

コダックが 2016 年に発表した目標は、このサステナビリティ事業を引き続き拡充し、外部排出源から提供される溶剤の処理量を 2025 年までに 3 倍に増加するというものです。

コダックの溶剤回収事業は 2016 ~ 2021 年にかけて 55% の成長率で拡大

成長する溶剤回収事業

材料の回収量 (単位: 100万ポンド / 排出源: コダック以外)



Eastman Business Parkの 溶剤回収施設について

- » 蒸気発生器と鉄道施設を完備
- » 53基のステンレス製タンク
- » 23本の蒸留 / 回収用ステンレス製カラム



ONE PLANET

責任ある環境フットプリント管理

資源に限りがある現在の世界で、収益性の高い企業を育て次世代に受け継いでいくためには、持続可能性のある製品や事業運営の実現に徹底して取り組む必要があります。コダックは、廃棄物の削減、エネルギー消費量の削減、水の節約、有害物質の排出量削減を可能にする最新手法の導入を、全世界の事業拠点で推進しています。

EASTMAN BUSINESS PARK

持続可能な成長の中心拠点

Eastman Business Parkは、コダックの主要な生産拠点であるだけでなく、約486万平方メートル(東京ドーム約103個分)という広大な土地に技術、輸送、公共インフラの資産を独自に完備するイノベーションと製造の中心拠点として機能し、未来を担う最先端の製造メーカーやイノベーターを魅了し続けています。



Farther Farms 社は 2019 年より、Eastman Business Park (EBP) のテナントとして入居しています。当社では、EBP で利用できるリソースを活かし、食品製造事業、食品研究所、微生物学研究所を短期間で拡大できました。当社ほどの規模の事業で通常必要になる費用を考えると、これらすべてにかかった先行設備投資は驚くほど少なく済みました。世界最高水準の工業用施設を低価格で利用して急成長を遂げたい企業にとって、EBP に勝る選択肢はありません”

Mike Annunziata 氏
Farther Farms社 CEO

イノベーションとコラボレーション

EBP には、コダックを除く企業 116 社、コダック以外の従業員約 5,000 人を含むイノベーター、起業家、業界リーダーが多数集結しており、そこから生み出される製造関連の売上は年間 20 億ドルを超えています。

地域社会貢献

EBP は地域社会における交流の場としても機能しています。STEM 分野に対する中高生の関心喚起に取り組む JUNIOR ACHIEVEMENT や、熟練労働者の育成基盤であるモンロー コミュニティ カレッジと提携しているほか、年間を通して数多くのコミュニティ イベントを開催しています。

インフラ資産

EBPには、ほぼ無制限の水、蒸気、安定した電力、敷地内鉄道、廃水処理施設などの資産を総合的に完備しています。また、製造施設や流通施設、研究所、オフィス用の土地面積は148万平方メートル（東京ドーム約32個分）を誇ります。

居住空間

敷地内には、176区画の多目的住宅開発地であるEASTMAN RESERVEがあります。

エネルギー貯蔵エコシステム

まだ初期段階ではありますが、コダックでは、製造を中心とした現在の強みをエネルギー技術分野へと積極的に広げつつあります。パイロット/開発用施設を活用するお客様がますます増え、統合型の製品やサービスが求められるようになっていますが、エネルギー事業への参入によってEBP内のエコシステム拡大にさらに拍車をかけることで、お客様の期待に応えられるようになるでしょう。

不動産戦略

EASTMAN BUSINESS PARKの所有権は土地空間いずれもコダックにあるため、当社のインフラ、サービス、建物、土地の柔軟かつ効果的な再利用という戦略を軸に、数多くの外部向け事業の開発と成長を図ることができます。2021年全体では現在のテナントの94%がリース契約を更新し、EBPが提供する環境のメリットと価値を引き続き活用していただくことになりました。

エンターテインメント

2,000席を擁する劇場、会議室、ダイニングルーム、フィットネス施設を備えたKODAK CENTER FOR THE PERFORMING ARTSでは、有名なエンターテインメントイベントの会場として人気を博しています。またコダックは、非営利団体や地域社会のイベントにも同センターを開放しています。

持続可能な操業体制

コダック施設における環境フットプリント低減の取り組みの一部を紹介します。

米国 ニューヨーク州ロチェスター

コダック最大の製造拠点である Eastman Business Park には、急成長を遂げているコダックの溶剤回収事業に加えて、サステナビリティ関連のイノベーターや起業家が数多く集結しています。2021年、当社の特殊インクおよび分散体製造事業では、粒子化性能をスケールアップしたことでエネルギー使用量が41.6%削減され、年間50トンのCO2削減に成功しました。さらに処理用トートが再利用されたことで、廃棄物は実質85%削減されています。

米国 オハイオ州デイトン

コダックは、デイトン大学の産業アセスメントセンターと提携して、イーストマン・コダック社デイトン工場のエネルギー評価を実施しています。調査結果に基づく改善策を実施することにより、年間1,400トンのCO2削減が見込まれています。

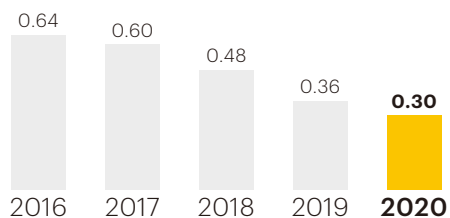


コダックのグローバルな環境パフォーマンス



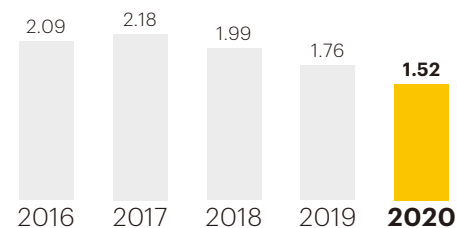
温室効果ガス排出量

(単位: 100万トン-CO2e)



水使用量*

(単位: 100万立方メートル)



*環境データ報告の透明性向上という当社の方針に基づき、前回のレポートから値を再掲したうえで、改善された精度を適用しています。



責任ある サプライチェーン

コダックでは、マイノリティ、女性、LGBTQ、退役軍人が所有する企業、小規模企業、障がいをお持ちの方が運営する企業など、小規模かつ多様なサプライヤーと積極的につながり、関係を深めています。サプライヤー ダイバーシティ プログラムを通じて、1989 年以来さまざまなサプライヤーに最大限の機会を提供し、ビジネスのあらゆる側面をご支援いただいています。

当社のサプライチェーンには、当社の紛争鉱物に関するポリシーや社会と環境に関するサプライヤー要件の記載に基づく、当社と同水準の厳格な基準の遵守が義務付けられています。このような責任あるサプライチェーンを維持していることが、コダックが世界最高水準のグローバルビジネスを持続できている理由のひとつです。



ONE PEOPLE

助け合いの輪

当社は、コダックが明るい未来を描き続けていくためには、従業員が仕事に熱中でき、充実感を得られなければならないことを理解しています。当社の職場は、多様性、安全性、包摂性に富む場所ではなくてはなりません。また、当社の理念は、従業員の健康と幸福が中心でなければ意味がありません。コダックは、強い期待に応える製品とサービスを創造し提供する成長企業として、現在と次世代の従業員にさまざまな機会を生み出しています。

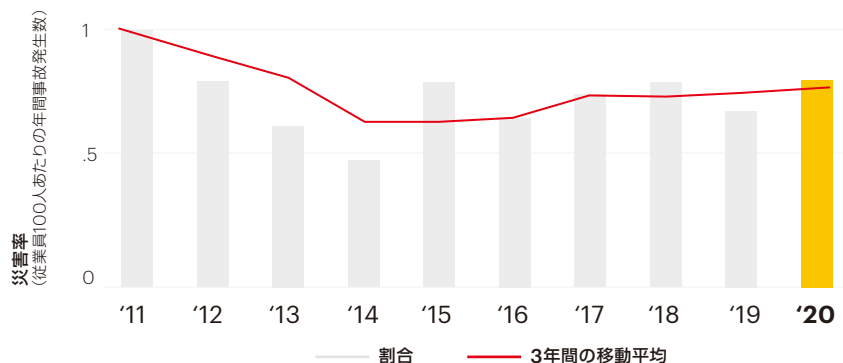
安全

当社の最優先事項は、当社のビジネスに日々関わるすべての人々の健康と安全です。それを実現する第一歩が、従業員の健康と福利厚生です。経営幹部の会議は常に、安全に関する最新情報を共有することから始まります。

包括的アプローチ

コダックが労働災害防止を目的にコダック安全委員会を発足させたのは1911年のことです。現在は、コダックのグローバル衛生／安全／環境（HSE）チームが、業務全体の改善に継続的に専任で取り組んでいます。そのアプローチは、リスクの特定と軽減、安全な労働慣行に関する研修と情報共有、事故やヒヤリハットの徹底的な分析、現場監査などで構成されます。事故を徹底的に精査し結果を共有することは、同種の事象やより深刻な事象の発生防止につながります。ここ何年かは、数年をかけて飛躍的な改善を遂げた、現在の目標のベースラインである2016年の水準を保つ状態が続いているものの、25%という意欲的な削減目標を達成するペースでは推移していません。当社は、安全に関するあらゆる事故は防止できるという確信のもと、この重要分野の改善に取り組んでいます。

コダックの安全事故率(2011~2020年)



GOAL

目標：労働災害率を2025年までに25%削減

25% by 2025

2016年のベースラインとの比較

コロナ禍における従業員の安全確保

コダックの従業員は一人ひとりが欠かせない存在です。それぞれが当社の未来を築く重要な役割を担っています。新型コロナウイルス感染症のパンデミックに直面した当社は、既存の安全手順を基礎に先を見越した対策を講じ、従業員と従業員の家族、コダック施設への訪問者の安全確保に努めました。2020年11月には、企業全体としての取り組みの評価と重点的な支援が必要な領域を把握するため、従業員向けアンケートを実施しました。アンケートの結果は、パンデミックに対するコダックの迅速な対応、対策やリソースの提供内容、従業員の健康維持への揺るぎない姿勢を評価する、好意的な意見がほとんどでした。

世界保健機関（WHO）、
米国疾病予防管理センター、
現地医療専門家などの
外部リソースによる最新の
ガイダンスと勧告を取り入れ、
意思決定の参考にしました。

パンデミックが
引き起こした数多くの課題に
対処するため「プレイブック」を
短期間で作成し、従業員が
従うべきロードマップを示し、よ
くある質問とその回答を
記載しました。

高リスク地域への渡航や
不要不急の渡航を禁止し、
サービスエンジニアなど
重要性の高い担当者による
計画済みの渡航については、
大手グローバル企業が運営する
医療／旅行セキュリティ
サービスのアドバイスを
活用しました。

情報共有、
個人衛生習慣の促進、
リモートワークにより、
従業員のリスク最小化を
図りました。

全世界の施設で、
在宅ワーク、施設訪問者の
スクリーニング、職場の消毒を
行政による指示に基づき
実施しました。

従業員の安全確保の
ために、コダックが
講じている対策の一部を
紹介します

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

テクノロジー企業であるコダックが成功するためには、優秀な人材を確保・育成し、信頼関係を築くことが欠かせません。世界水準の人材を惹きつけ維持するには、ダイバーシティ（多様性）／エクイティ（平等）／インクルージョン（包摂性）、すなわちこの3つのテーマの実現を目指し、徹底して実践していくことから始める必要があります。むしろ、この取り組みに尽きると言えるかもしれません。

コダックは、全世界の数多くの国々に事業を展開するグローバル企業として、人種、ジェンダー、考え方の多様性、経験、経歴、年齢、社会経済状況など、個人のさまざまな側面を含むものとして、広く多様性を定義しています。このような多様な背景と視点を尊重しながら、コダックの共通目標の達成に向けて力を合わせていくことが、成長とイノベーションを実現し、現在そして次世代の従業員が抱えるニーズを確実に満たし、世界中の多様なお客様のニーズと経験を、よりの確に把握することにつながると考えています。コダックでは現在、マネージャーやシニアリーダーに対する期待事項に設定することを含め、業務や人材のライフサイクルのあらゆる側面にダイバーシティ（多様性）／エクイティ（平等）／インクルージョン（包摂性）を組み込む方法を模索しています。

2020年には、人種的公平に関する理解と学習を深め、あらゆる人々が包摂性を享受できる職場と地域社会をコダックとともに構築することを目指し、21-Day Racial Equity Challenge への参加を従業員に呼びかけました。このチャレンジに参加したロチェスターの従業員は、新しい習慣が定着するのに必要な期間とされる21日間にわたり、人種差別と公平性について学べる記事、ポッドキャスト、動画のリンクが記載されたメールを受け取りました。終了後は、コダック従業員と一緒に学習内容を振り返るディスカッションおよび報告会をコダックの主催で実施しました。このチャレンジにはロチェスターの約500の企業と団体も加わり、参加したコミュニティメンバーは10万人以上に達しました。

コダックでは、全社的な方針として、個人一人ひとりの尊厳を尊重するとともに、人種、肌の色、宗教、性別／ジェンダー、性自認、性的指向、配偶者の有無、妊娠、遺伝情報、市民権の有無、国籍、年齢、障がい、退役軍人の身分などに基づく差別を禁止しています。

100%

コダックは、企業平等指数 100% を 21 年連続で達成しています。

この評価は、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クィア (LGBTQ) に関する職場方針とその実践に対する優れた取り組みが認められたことを意味します。

スコア 100% を獲得した企業は、

「LGBTQ 平等における最高の職場」に認定されます。



将来を切り拓く技術と人材の育成

コダックは、将来を担う技術と人材が育まれる、収益性と持続可能性に優れた企業づくりに取り組んでいます。



Brooke Lasky

プロダクトスチュワードシップ スペシャリスト
米国

「コダックは、歴史を重ねてきた中で深く幅広く蓄積してきた知識を最大限に活用しつつ、自社の変革を推進しています。新しいチャンスが得られ、スタートアップのような感覚もあるこの会社で、刺激的な日々を送っています」



Alejandro Pedrola

印刷アプリケーション スペシャリスト
スペイン

「何もかもがバーチャルに現れては消えるような変化の速い時代に、コダックのような健全な企業に所属していることに、手応えと刺激を感じ、意欲が湧いてきます」

Anna Kramlinger

税務ディレクター
ドイツ

「素晴らしい同僚たちと刺激的な挑戦を楽しみながら、コダックでのキャリアをスタートしています。このような魅力的な組織で自分の税務知識を発揮できることに感謝しています」



Tom Bianchi

AMCパイロットコーティング/
商用コーティングエンジニア
米国

「コダックに入社して約2年半になりますが、課題を与えると同時にしっかりと支援してくれるこの会社の体制が、キャリア形成のスタートを後押ししてくれたことに感謝しています。これからも、新しい学びに出会う毎日が当面は続いていくと思います。今後楽しみにしているのは、印刷とロールtoロール製造の専門知識を、企業としての継続的な成長にいかにつなげるかというテーマです」

Jessica Silkworth

電気機械技術 実習生
米国

「コダックにいと、もっと学びたいという気になります。学べば学ぶほど、新しいことに取り組むチャンスが増えていきます」

従業員の健康と福利厚生

コダックでは、優秀な人材を育成し、イノベーションを促進し、従業員の身体的および心理的な健康増進を支援するための手段、資源、福利厚生に投資しています。

コダックの福利厚生制度には次のようなものがあります。

- 健康診断、労働災害／傷病のケアと治療
- 健康的な選択を奨励し、健全な生活様式を推奨する Partners for Health Program の提供
- 授乳期間中の母親の支援
- 病気や怪我をした従業員のための職場復帰／就業継続プログラム
- 季節性インフルエンザの予防接種
- 渡航医学プログラム
- コダック イン트라ネットの医療リソース

コダックは、個人的な困難に直面した従業員やその適格扶養家族、仕事、家庭、地域社会、自分自身への関わり方のバランスを取りたいと考えている従業員とその適格扶養家族のために、従業員支援プログラムやワーク／ライフ両立支援プログラムを通してさまざまな援助を提供しています。これには次のものが含まれます。

- 子供や近親高齢者のための緊急バックアップケア
- ストレスコントロール、子育て、近親高齢者の介護、大学資金などをテーマとするランチタイムセミナー
- 仕事の責任と個人的価値の両立を支援する柔軟な業務スケジュール

近年のパンデミックとそれに伴う影響は、当社の全社員にさまざまな形で犠牲を強いています。数多くの個人や家族にとってメンタルヘルスは重大な問題となりました。コダックは、こうした困難を抱える従業員のための支援サービスを積極的に提供しています。これには、セラピストへの無料相談、カウンセリングセッションの割引、メンタルヘルスや健康に関する動画、ウェビナー、リサーチ情報、ヒント、ツールなどがあります。



地域社会との関わり

コダックはその長い歴史の中で、事業を展開する地域社会の慈善団体を常に支援しており、そのことに大きな誇りを持っています。コダックの数多くの情熱的な従業員が、ボランティア活動や慈善活動を通じて地域社会貢献の揺るぎない取り組みを続けています。

コダックとその従業員による近年の地域社会貢献活動の一部を紹介します。



2019

- Kodak Rochester、アメリカ心臓協会のパレードに1万ドルを寄付。
- Kodak Columbus、地元の学校のために屋外教室を設置
- ロチェスターの従業員100人以上が、イベント United Way Day of Caring にボランティア参加。
- Kodak India、コダックから非営利団体 Room to Read への寄付を通じて、インド・ラジャスタンの学校の新しい図書室設置を支援。
- Kodak Rochester、Kodak Tower を従業員が懸垂下降するイベントを開催し、ボーイスカウト団体 Seneca Waterways および地元のスカウトプログラムの資金調達を支援。
- Kodak Mumbai、地元の顧客企業 Jasmine Art Printers と共同で、インド・コダラの学校に5,000冊のノートを送付。
- Kodak Israel の従業員とその家族が、イスラエル ALS 協会に協力し、年1回開催される ALS マラソンに参加。
- Kodak China、中国重慶市の図書館内施設 Kodak Book House の設立を支援。コダックおよび従業員からは1,200冊の児童書が寄付された。

2020

- デイトン、コロバス、ロチェスターの各オフィスの従業員が、イベント United Way Day of Caring に参加。
- コダック、非営利団体 Room to Read を通じて、顧客企業 Alcom Printing Group, Inc. と共にインドネシアの学校に配布する2,000冊の書籍を印刷。
- コダックの新型コロナウイルス救済の取り組みについては10ページを参照。





Worldwide Headquarters

343 State Street
Rochester, NY 14650
USA

www.kodak.com



10% FIBER DERIVED FROM
POST CONSUMER WASTE

(c) **Kodak**, 2021. Kodak, Nexfinity, Prosper, Sonora, Ultrastream,
Ascend and the Kodak logo are trademarks.

コダック ジャパン

<https://kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)
大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270
仙台:050-3819-1255 札幌:050-3819-1250